

新たな一歩踏み出す 1月12日 成人式



④晴れ着姿で会場に集まる新成人たち⑤恩師と写真を撮る新成人

新成人の門出を祝う「成人式」が1月12日、文化センター大ホールで行われました。振り袖や羽織袴、スーツに身を包んだ新成人467人(対象者663人)が出席し、成人としての新たな一歩を踏み出しました。

第1部の式典は、市内で活動する和太鼓サークル「和っ鼓」による演奏で盛大に幕開け。続いて、堀口市長、細見市議会議長が新成人たちにお祝いの言葉を贈りました。

最後に、新成人を代表して誓いの言葉を述べた西岡太地さんと小林三玲さんは、同世代のフィギュアスケート選手・羽生結弦さんの活躍に触れ、「常に努力を惜しまず、どんな困難にも立ち向かっていくことを



料理を盛り付ける生徒たち

1月21日、男山東中学校で食育授業「松花堂弁当を作ろう」が行われ、2年2組の生徒28人がオリジナルの松花堂弁当作り挑戦しました。

松花堂弁当で食を学ぶ

同授業は、生徒たちに伝統的な食文化や栄養バランスの重要性を学んでもらおうと、京都吉兆の村上寛治さんを講師に招いて実施。これまで、2年生がクラスごとに別々の日程で、だしを生かした吸い物や煮物の作り方を学んできました。

地域活性化案を市長に提言 子ども会議



寸劇を交えて「スイーツマップ」を提言する小学生班

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

もしものときの 110番

1月10日の「110番の日」を前にした1月8日、八幡警察署員による110番の啓発活動が有都小学校で行われました。

同署は、「110番の日」に車でチラシを配るなどして、毎年、啓発を行っています。今回は、子どものときから正しい110番の利用方法を知ってもらおうと、同校と協力して初めて小学校で啓発を行いました。

はじめに、署員が110番についての校内放送を実施。署員は「110番するときは、慌てないで、落ち着

いて、何があったのかを教えてください」など、心構えや注意事項などを伝えていました。

その後、5・6年生は体育館で110番の仕方や利用についての〇×クイズに挑戦。〇×クイズでは、「110番すると、八幡警察署に電話がかかる？」などの問題が出され、児童たちは楽しみながらも真剣に正解を考えていました。

福田陸人くん(11)は「もし事件や事故にあったら、慌てずに110番するのが大事だと思います」と話していました。



署員から市内の交番の場所を学ぶ児童たち

りへの思いなどの話を聞いて、テーマを「地域活性化」に統一しました。

市内の和・洋菓子店に注目した小学生班は「スイーツマップ」を提案。各店舗の場所を示した地図や人気商品を掲載したパンフレットを駅などに設置し、観光客を呼び込むことを提言しました。

ほかにも、竹を使ったイベントの開催など、さまざまな地域活性化案が提言されました。

南山小6年の松島陽志朗くん(12)は「みんなと発表できて楽しかったし、ほかの人ができないような経験ができて良かったです」と話していました。

子どもならではの視点でまちづくりを考える「八幡市子ども会議」の委員が12月26日、取りまとめた案を松花堂美術館で堀口市長に提言しました。

同会議は、立命館大学政策科学部稲葉ゼミと連携して行われており、今回で11回目。委員を務める市内の小中高生35人が4班に分かれ、昨年の6月からテーマに沿って調査や取材を行いました。

今回は初めての取り組みとして、委員たちが第1回会議で市長のまちづく